

# サポーター制度を活用したブルーベリー産地の育成

県央農林事務所経営・普及部門

小美玉市では、軽量で省力的な栽培が可能なブルーベリーを推奨作物に指定し、生産を奨励しています。しかし、収穫期などに労働時間が集中するという問題がありました。このため、県央農林事務所経営・普及部門では、一般の方に作業を手伝ってもらうことで、農家の労力削減を図りながら、併せて農村への理解を深める「ブルーベリーサポーター制度」の導入をすすめ、小美玉市と連携しながらその運営支援を行っています。

## ブルーベリーサポーター制度

サポーターには、摘み取り作業を支援する「摘み取りサポーター」（活動期間：7月～8月）、剪定作業を支援する「剪定サポーター」（活動期間：12月～3月）の2種類があり、市内外から応募があります。平成27年度は、摘み取りサポーターとして41名（市内：23名、市外：18名）、剪定サポーターとして13名（市内：9名、市外：4名）の方が活動を行い、農家、サポーターの両者から好評を得ました。



サポーターとの交流会

## さらなる産地活性化に向けて

小美玉市ブルーベリー生産組合では、加工部「べりちゃん工房」を設け、生産したブルーベリーの加工品づくりに取り組んでいます。

べりちゃん工房では、ご縁ができたサポーターのみなさんの声や、口コミを、ブルーベリー生産だけでなく、加工品づくりや、PR活動にも活かしていきたいと考えています。



摘み取りサポーターの作業風景

## サポーター制度の導入効果

平成27年度は、農家8戸が摘み取りサポーターの受入を行い、サポーターに平均約300kg／戸を摘取っていただきました。剪定サポーターは農家5戸が受入を行い、「サポーターのおかげで作業に余裕ができた」と感謝の声が聞かれています。一方、サポーターからは、「農業者の苦労を実感した」「小美玉市産のブルーベリーに思い入れができた」などの声が聞かれ、農業への理解促進や、産地PRにも効果が出ています。



「べりちゃん工房」のメンバーたち